

各グループごとに制作したポスターを披露する三戸高校1年生



生き生き「三戸人」を紹介

三戸 三戸町の三戸高校（直町年行校長）1年生が「クリエイティブ部」の授業で取り組んできた、三戸町の魅力をPRするポスターが完成し11日、同校でお披露目された。今年のテーマは「三戸人」。28人の生徒が七つのグループに分かれ、それぞれ1人ずつ、町内でさまざまな分野で生き生きと活動する人たちに焦点を当てた。

（藤田幸雄）

三戸高クリエイティブ部

生徒たちはキャッチコピーや写真撮影、構図などを企画。6月には7人のプロクリエイターのサポートを受けながら、それぞれ選んだ対象者の職場などを訪れ、テーマに沿った素材写真を撮影。その人の情熱やストーリーが伝わるようなキャッチコピーを作った。

ポスターは同校の文化祭開会式で披露。体育館に集まった全校生徒の前で1年生がポスターを紹介し、制作過程での苦労や工夫した点などを発表した。

約40匹のヒツジを飼育する牧場を運営する千沢

町PR ポスター完成

正知さんを取り上げたポスターのキャッチコピーは「俺も羊もイケメェーソン」。千沢さんが愛情を込めてヒツジを世話する姿や、牧場の自然豊かな風景が写し出された。

また、町内の農産物直売所で働く神山榮子さんのポスターには「野菜を売っていつもシャキシャキ」と表現。新鮮な野菜を手笑顔を見せる神山さんをポスターの中心に据えた。佐藤世菜さんは「暑い中の写真撮影は大変だったが、ポスターを見て多くの人が直売所を訪れてもらいたい」と話した。